

平成28年度 学校評価 集計結果とまとめ



回答率	協議員	100%	91%
	保護者	64%	
	教職員	100%	
	CG	100%	

CG=学校介護職員

学校評価に御協力くださり、誠にありがとうございました。
評価していただいた内容をまとめましたので、御覧ください。
多くの設問に対して丁寧に回答していただき、また貴重な御意見を多数いただきました。
学校評価の結果について真摯に受け止め、さらなる教育の充実に向けて、教職員一同、努力を重ねてまいります。

東京都立鹿本学園

平成28年度学校評価 集計結果とまとめ

(1) 4段階の評価をプラス評価(4、3)とマイナス評価(2、1)とし、未記入を加え表示した。

(2) 評価記号について(4者合計)

- | | |
|--|------------------|
| ① マイナス評価10%未満(◎) | ② マイナス評価20%未満(○) |
| ③ マイナス評価25%未満(△) | ④ マイナス評価25%以上(▲) |
| ⑤ マイナス評価は少ないが、未記入が多く、プラス評価も高いとはいえない(□) | |

「教育課程の充実」

CG＝学校介護職員

Q1 言語獲得・文字獲得に至る基礎段階の学習を含めた「国語、算数・数学」の指導の充実を図ることができていると思いますか。

【保護者】日々の学習について、個別指導計画に基づいて、お子さんの成長が感じられる指導がされていると思いますか

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	95%	3%	2%	96%	3%	2%	97%	2%	1%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・子供にあった個別指導計画で、成長を感じる。 ・意欲的になり、学校での生活が刺激になっていると感じる。 ・学校だけでなく、自宅でも成長をできる場面が増えてきた。 ・子供が楽しく勉強できて意欲も高まっていると思う。 ・訪問授業が充実しているので、スクーリングの授業も、楽しく参加できている。 ・自分のやる事がわかるようになった。 ・言葉や注目が増えて、生活がしやすくなった。 ・繰り返し展開する際の、教材の工夫が必要。 ・歩行器などを取り入れた授業をしてほしい。 ・個別指導計画を立てても、達成できているとはいえない。 ・外部専門家の意見をどう生かしているのか、保護者への発信が必要だと思う。 						<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携を図りながら、より良い指導の充実につなげるため、日々の授業の方向性の検討や研究に努めます。 ・個別面談等を通して、お伝えできるように努めます。 						
今後の方針						・教員間の共通理解を深めるとともに、保護者との連携を図りながら、より良い指導の実現に努めていきます。						

Q2 キャリア発達の視点を重視した、学習活動の展開を行っていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	/	/	/	88%	9%	3%	94%	5%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・大人が多い環境だと、集団行動を学ばせる機会や友達同士でのコミュニケーションを磨く場が少ない。 ・教育課程ごとに、学部間での系統性が図られると良い。 ・小学部段階から卒業後のことを本人や保護者に考えてもらうことが必要。 ・教員がキャリアについての基礎的な知識を学べる場を、多く設定できると良い。 ・キャリア教育を日々の学習に落とし込む視点を学ぶ機会が、教員で持ててない。 ・S高等部の企業就労へ向けた学習の充実を期待する。 ・N部門の、キャリア教育の充実が期待される。 						<p>(今後の方針のとおりです。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・S高等部卒業後1・2年程度、就労に向けた資格取得などのトレーニングを受けて、今春企業就労すると卒業生の3名から頂戴しました。2名は在学中の在宅IT現場実習が企業就労への契機となったとのことです。別の1名は「自分の夢と進路」を語る弁論大会が自己実現への契機になったと報告に来てくれました。この実績を踏まえ、在学中から、本人の特性に応じつつ社会に即した実習の機会の工夫や、人生設計を意識させる学習の工夫等、就労・進学に向けたカリキュラムの一層の充実を努めます。 						
今後の方針						・平成28年度キャリア教育優良実践校として文部科学大臣表彰を受けました。本校が開校以来目指して歩んできた実践について確信を得ることができましたこれを教職員一同の励みとして、「考え、判断する力」の基礎となる力(コミュニケーション能力や学術的・論理的に考える力)を伸ばし、各々の年齢段階に応じた「社会で生きていくための必要な視野と総合力・応用力」を身に付けられるキャリア教育の一層の充実を努めていきます。						

Q3 学力向上やキャリア発達の視点を重視した学習活動の展開(S高等部)、オリンピック・パラリンピック(及び国際理解)教育の視点を踏まえたスポーツ教育など、新たな教育課程の開発と実施が進められていると思いますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				83%	12%	5%	92%	6%	3%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ポッチャ甲子園への参加は、全学園生にとって励みになる。 教科・領域を限定せず、折に触れてオリンピックやパラリンピック、他国の情報などを話したり、授業に意図的に盛り込んだりしている。 学年の協力のもと、インド国籍児童の保護者をお招きして国際理解教育の実施した。 パラリンピックで、ポッチャが取り上げられたのが良かった。 平成32年を見据えた計画を考えていくことが必要。 年度途中の課題設定だったため、来年度に向けての充実が求められる。 							(今後の方針のとおりです。)					
今後の方針							・全校で系統立てた計画的な指導を展開できるよう、学園としての方向性を明確にしていきます。					

Q4 知的障害教育部門中学部において、3年間を見通した教育課程の開発や学部内系統性の確立がなされていると思いますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎							83%	8%	10%	83%	8%	10%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> 進路指導のノウハウの積み重ねは始まったばかりだが、着実に積み重ねを始めている。 移動教室や修学旅行などは、系統的に実施できている。 スポーツフェスタを3年間見てきて、系統立てて指導しているのが明らかにみられる。 中学部の3年間の中でどのような系統性を意識しているのか、より具体的に、校内で共有しておくことが必要。 詳細が他学部まで伝わってこない。 各教科ごとに3年間のシラバスを基に各学年授業を行うことができた。 							(今後の方針のとおりです。)					
今後の方針							・今年度はN部門中学部の全3学年が揃い、学部としての系統立てた指導をこれまで以上に意識する節目の年となりました。特に、初めて送り出す卒業に向けての指導に関しては様々な御意見も頂戴し、改善すべき課題等も見えてきました。今後も引き続き、定期的な見直しを行いながら、中学部期3年間の教育課程の継続的な開発に努めます。					

「授業力の向上」

Q5 授業者支援会議で得たノウハウの蓄積や、日々の評価による改善策の共有と活用ができていていると思いますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				83%	8%	9%	92%	4%	5%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 支援会議は充実してきている。 支援者の意図を汲み取り、指導に生かされている。 1時間の授業の中で、活動が多すぎる。 ガイドを見ると、改善されていない。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針		・さらなる効果的な支援会議となるために、支援者に専門家も交えるなど工夫していきます。また、改善案で有効な策をカテゴリー化して「授業改善ハンドブック」としてまとめ、校内で効果的な改善策や視点を共有していきます。										

Q6 授業力向上研修等研修の成果を、日々の指導に活用することができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				94%	4%	3%	97%	2%	1%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 夏の教材展で、教材作りのヒントやアイデアをもらえた。 夏季研修や全校研修等学、学ぶ機会が充実している。 教材作成や実技演習は、日々の指導に活かせる研修なので、これからも続けてほしい。 身体の姿勢、対面の距離や角度など、他の場面に活用できるものを、共有することができた。 教材や言葉かけなど、個別指導の時間に活用している。 万が一「今の自分にはこれには必要ない」と思っても、どこかのタイミングで活用できる場面があるかもしれないので、実施すべきである。 S部門の自立主に関しては個別学習の点では充実しているが、集団での学習を学ぶ研修が少ないと感じる。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針		・個に応じた指導実践力(指導技術・言葉かけ、教材の工夫と操作、学習者の心理理解)を身に付けることは本学園全教職員に必須の専門性として今後も経営計画に位置付け、全体の指導力の維持向上のために継続していきます。										

Q7 日々の指導に関する説明を、授業ガイドや通知表を通し、しっかり伝えることができますか。
【保護者】授業ガイドや通知表を通し、日々の指導について理解できましたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	0%	11%	97%	1%	2%	92%	4%	4%	93%	2%	6%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・通知表、個別指導計画が、とても分かりやすい。 ・通知表は子供にも分かる温かみのあるもので、良い。 ・通知表は全ての授業分があるとよい。 ・通知表は、できることや良い所だけでなく、注意点や今後頑張してほしいことについても書いてほしい。 ・具体的に何の目的で何をしたのかがよくわからない。 ・授業ガイドは、参観時のポイントやねらいが細かく記されていて良い。また他学級の内容を知るきっかけになる。 ・目標はきめ細かく、スモールステップで示してあるとよい。 ・連絡帳の様子のほか、お便りで授業の様子を伝えていただき、親の安心にもつながっている。 ・素晴らしい音楽や職業の授業を見た。 先輩の授業が全体にいきわたるようにしてほしい。 							(今後の方針のとおりです。)					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・『通知表』は本人に分かり易く、『個別指導計画』は全指導領域について詳しく、『個人面談』では紙面で伝えきれない留意点や課題も含めた重要ポイントをと、この三者の重複を減らし、性格を明確にして活用していきます。 										

Q8 日々の授業について、指導環境の整備や教材の工夫は行われていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	91%	3%	6%	93%	5%	2%	94%	3%	3%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・教室が授業に集中できるように工夫されていて良い。 ・子供の実態に合わせた、教材の工夫は素晴らしい。 ・視覚支援の工夫が、たくさん行われていると思う。 ・電子黒板はゲーム感覚で、子供たちにとって興味をもつのに良いアイテムだと思う。 ・良い教材は、学部で共有できるとよい。 ・個に応じた工夫は、もう少しできると思う。 ・パーティション教室で隣の教室の音が聞こえ、気が散る。 ・まったく工夫されていると思えることがされていない。 ・知的だから検定教科書がもらえないのは不満。合っていない。 ・校外活動を多く取り入れて地域との交流を図ってほしい。 ・授業の合間の時間を有効に使えるよう、楽器や玩具、本など、すぐに手に取れるところに用意しておいてほしい。 							<ul style="list-style-type: none"> ・学部内や部門間、必要に応じて全校での共有と有効活用について、方向性を検討していきます。 ・都立特別支援学校の学級教室設置基準としてパーティション分割型の教室形態が導入されています。学校としてはこうした現状の制約の中でも、決して諦めることなしに授業に集中できる環境づくりを進めます。 ・検定本を受給することはできませんが、お子様の課題に応じた図書を活用するなど工夫して参りますので、御安心ください。 					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・新たに学習室を設けたり、敷地内に学習できる場を整備するなど、引き続き指導環境の整備や教材の充実を進めます。 										

Q9-1 読み聞かせや調べ学習を通して、思考力や判断力、表現力等の育成を図り、多様な言語活動を展開することができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				92%	8%	1%	96%	4%	1%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> 図書室の活用が充実している。 図書館や教室に本が沢山あり、気軽に読める。 図書室へ行く時間が少ないのは残念。 							<ul style="list-style-type: none"> 授業内容の工夫や、休み時間の有効活用に努めます。 					
今後の方針			<ul style="list-style-type: none"> 年間貸出量1万冊が象徴する本校の活動が、平成29年度読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰東京都候補校(表彰決定は後日)となったことを誇りに、引き続き、読書活動を基盤に据えた言語活動の充実を全校で進めていきます。 									

Q9-2 オープンライブラリーやICTの活用により、充実した教育活動が行われていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎				74%	9%	17%				74%	9%	17%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> 年々活性化し、充実してきていると思う。 図書館の整備、活用法は大変素晴らしい。 タブレットをもう少し授業に取り入れてほしい。 オープンライブラリーは、入れ替えが行われていて素晴らしい。また、見つけやすく取りやすい。 パソコンの知識や技術が身に付けられるようにしてほしい。 図書ボラはもっとあっても良い。子供と触れ合うこともできるし、親が手伝える環境作りの一つ。 N棟にも図書館を設置してほしい。 オープンライブラリーの本が絵本ばかりで調べ学習ができない。 マルチメディアDAIZYの活動は、利用人数が増え充実した。 							<ul style="list-style-type: none"> 図書館アテンダントは来年度以降も続けていきますので、ぜひ御協力をお願いします。 調べ学習については図書館内に調べ学習に適した図書の配置を行っています。また、S棟2階のコーナーには青少年向けのテーマ探求系図書を展示しています。学習場所で自由に調べ学習ができる「ポプラディア百科事典」ワゴンも活用されています。今後、調べ学習用のパソコンも設置する予定です。図書館が情報センターになるよう、引き続き改善を進めます。 ICT機器は、引き続き各教科等で使用する頻度を高められるようにしていきます。 					
今後の方針			<ul style="list-style-type: none"> 今後も、展示図書の入れ替えや読書推進月間など、図書館の運営について改善を進めていきます。御家庭でも、学校で借りた本を読むなどの取り組みに御協力ください。 パソコンを使用する機会は学校だけでなく、ぜひ御家庭でも取り組んでいただけると良いと考えています。御家庭での導入に関して御心配な点がありましたら、学級担任か学級担任を通して各学部のICT担当までお問い合わせください。 									

Q10 読書活動等の、活字に親しむための教育環境を整備(オープンライブラリーの充実)することができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				90%	6%	4%	95%	3%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・年々活性化し、充実してきていると思う。 ・混雑しすぎていて利用できない時がある。 ・読ませるだけの授業のあるが、単位時間の流れをきちんと示した方がよい。 ・読書推進月間(図書カード含む)があるのは、児童・生徒のモチベーションがあがるので、良い。 ・図書館はとてよく整理されている。担当の先生方やボランティアの方々のおかげで、図書室関係がとて充実しており、使いやすくなっている。 ・棚に本が詰まりすぎず、適度を選びやすく見やすい。 							<ul style="list-style-type: none"> ・今後も展示図書の入れ替えや読書推進月間などの取り組みを続けていきます。 					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・年間貸出量1万冊が象徴する本校の活動が、平成29年度読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰東京都候補校(表彰決定は後日)となったことを誇りに、引き続き、読書活動の基盤整備を進めていきます。具体的には本校独自の取り組み「レッツ読書」や「読書マラソン」など、活字に親しむための教育環境の充実を図ります。 										

Q11 タブレット型端末を活用した調べ学習の充実や、プレゼンテーション能力等の向上及び授業展開の工夫が図られていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	67%	11%	22%				73%	22%	5%	70%	17%	14%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・活用する人としていない人で二極化しているように思われる。 ・新しいアプリが入らないので、なかなか有効に活用できない。 ・訪問も、自由に使えるとよいが、台数が限られる。 ・活用できる無料アプリを自由にダウンロードしたい。 ・教室によっては、ネットに繋がらず残念なこともある。 ・タブレットの台数が限られており、使いたい時に使えない。 ・学部会の、効率化にも活用されつつある。 ・行事の事前学習等で効果的に活用することができた。 							<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を活用する教職員が増えるように基礎的な使い方を広める取り組みを進めていきます。 ・タブレット端末の使用については台数が限られているため、一人の人が持ち続けるのではなく融通して使ってください。 ・無線LAN環境の整備については東京都全体の方針もあり、難しい面がありますが引き続き要望してまいります。 ・年度後半に、タブレット端末を増やしましたので、以前より使いたいときに使いやすくなりました。 					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末の効果的な使い方を周知してまいります。 ・タブレット端末を使った方がよい場面、パソコンを使った方がよい場面など、ICT機器の使い分けができるようにより良い使い方やタブレット端末がないときのパソコンの使い方などを校内に周知するようにします。 ・児童・生徒のタブレット端末の持ち込みなどのルールを作るようにします。 										

「生活指導体制の構築」

Q12 各部門の障害特性に応じた防災教育プログラムの開発ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				93%	4%	4%	96%	2%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊防災訓練の実施は、良かった。 ・月1の避難訓練は、実際の災害にあった時の落ち着いた対応、防災ずきん等の着用の徹底に役立っている。 ・宿泊防災訓練については、体制等の厳しい中でも実施しなければならない現状なので、年々、様々な状況も踏まえた内容を検討していくべきと考える。 ・首都直下地震が来たら今のままでは心配。 ・N中宿泊防災訓練のノウハウの全校での共有に期待する。(今後の方針のとおりです。) ・災害に対する緊張感とともに、緊張感をもって実施できた。 ・対象学年の教員、生活指導部だけでなく、教職員全体が宿泊訓練に関われるような取り組みになるとよい。 ・宿泊防災訓練はとても良かった。事前学習やしおり、説明会もあり保護者も勉強になった。 ・防災頭巾を用意し学校に置いてあるが、ヘルメットの必要性も感じられた。 												
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・単に特定学年の訓練にとどまることなく、障害のある方が避難・宿泊する際の介護・誘導・保護・施設活用等多岐にわたるノウハウを学校が得ることで、災害時の全学園生のリスクを低減できることを全保護者に周知していきます。 ・今後も継続して、現実的な避難訓練の企画・実施の実現を進めるとともに、宿泊防災訓練の実績を積み、実施マニュアルや課題点との、全校での共通理解に努めていきます。 										

Q13 万一の事故を教訓とした再発防止策の徹底を行うことができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				97%	2%	1%	99%	1%	1%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・些細な事故でも、全保護者への説明を徹底している。 ・インシデント・アクシデント報告で情報を共有し、再発防止訓練を行い、同じ事故が起きないようにできている。 ・インシデント・アクシデント報告をすぐに行い、情報の共有ができている。 ・朝会等で事故内容を共有するため、事故防止についての意識が高まった。 ・事故発生時対応訓練を必ず行うことにしているのは、教職員一人一人の危機意識が高まって良い。 ・EMコールの訓練や学年でのアレルギーに対する検討、医ケアの対応等話し合われている。 ・CGとも連携を図り、安全な環境整備の徹底を行った。 ・毎年想定される事故内容が変化している(熱中症等)。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、事故が起きた際のインシデント・アクシデント報告や学年・学部単位で行う状況検証、部門ごとに行う事故再発防止研修を通じ、原因の確認や対応方法の共有化に努め、再発防止の徹底を図ります。 										

Q14 飛び出しや迷子、怪我の防止等、安全な施設設備を整備できていますか。
【保護者】施設面での防災対策は、十分だと思いますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	86%	3%	11%	96%	3%	1%	94%	2%	4%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 施設、設備は充実していて、その管理も徹底している。 避難訓練や災害伝言ダイヤルの訓練が行われている。 宿泊防災訓練は、保護者にも情報が伝わり安心できた。 トイレのベッドは柵のないものが多く、子供の実態によっては危険を感じることもある。 正門がカチッと閉まらなくなった。早く直してほしい。 地震、火災、洪水、不審者など移動が容易ではない子供のため心配事が尽きず、訓練の見学希望する。 防災対策は定期的な見直しが必要だと思う。 3階へは(水害)、エレベーターが止まったら階段しかない。 ガラスなど散らばっている状況の際には、どのように避難するのか不安がある。 浸水があった時、車いすに乗っている子供たちの避難経路や場所の確保に、足りないと思うことがある。 階段の真ん中の手すりは、いざという時の抱っこ時に邪魔。 安全面のことを考えてだろうが、学校訪問の時、いつも退出の暗証番号が分からず困ってしまう。 いつも南門があきっぱなしになっており、そのまま玄関まで関係者でない人も容易に入れる状態になっている。対策を講じてほしい。 最近、南門の自動ドアが開いている時間帯がある。 						<ul style="list-style-type: none"> トイレの電動昇降ベッドは常時介助を前提として設置したものです。利用中は介助者が離れることのないように再度徹底し安全の確認を最優先して、事故の防止に努めていきます。 修理依頼中です。 避難訓練は、いつ見に来ていただいても構いません。御確認いただき、御意見があればお知らせください。 肢体不自由児の歩行や訓練を想定した設置基準により、全都の肢体校舎に設置されている現状があります。御理解ください。 主に保護者、一部で送迎機関が利用しています。安全確保を徹底するため、再度全校保護者等に閉扉の徹底を周知します。 						
今後の方針		今後も継続して、全校の確認を行い、安全の確保と改善に努めます。										

Q15 スクールバスの安全発着体制や、一人通学の指導体制構築、通学路点検マップの充実等、通学環境を整備できていますか。
【CG】スクールバス登下校時の、安全確保はできていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				98%	2%	2%	99%	1%	1%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 安全体制がしっかり確立している。 スクールバス会社職員と学校職員が誘導を徹底するのは、事故を防ぐためにとても良い。 スクールバスの屋根が短くて濡れる。 傘をさしながらの迎えは、大変だし危険。 N中に関して、一人通学の実施が極端に少なく感じる。 スクールバスの安全は確保されているが、保護者の送迎の安全は、全く確保されていない。 新年度になり、バスの台数が増えたが、事前にシミュレーションなどを行ったことで事故なく行われている。 						<ul style="list-style-type: none"> 教職員間の連携を密に図り、健康と安全に配慮しますので、御安心ください。 高等部や卒後の充実した社会生活の実現に向け、保護者と連携を図りながら、実態に応じて一人通学を進めています。 近くに教員がいる時は、遠慮なく、お声掛けください。安全確認等、お手伝いいたします。 						
今後の方針		引き続き、安全に指導を進めることができるように努めます。										

「保健給食体制の構築」

Q16 2部門1拠点型に応じた、効率的・合理的な保健・緊急対応システムを確立できていますか。
【保護者】保健室が一つになり、保健・緊急対応はスムーズに進められていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	81%	3%	16%	88%	8%	4%	90%	4%	7%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・何かあればすぐに駆けつけてくれるので安心感がある。 ・病院の受診や体重の増加などについて、保健室で適切なアドバイスがいただけた。相談しやすく対応も早い。 ・S棟にあるが、緊急時はスムーズに対応してもらい連携がとれている。 ・保健の先生が、子供のことをよく分かっているので安心。 ・保健日より、分かりやすい。 ・思春期のお話が聞けて良かった。 ・保健室の評判は悪い。 ・緊急時の対応どこまでできるか分からない。 ・緊急対応が全くスムーズでない。早急に改善してほしい。 ・心配してくださるあまり、一人の生徒を4～5人の看護師さんが取り囲むことがあった。あまり大勢だとかえって子供が不安になることがある。適切な人数で見してほしい。 ・身体測定回数が増えてしまったことが残念。 ・医療的ケアや体調を崩しやすい子供が多いS棟に保健室があるのは妥当だが、保健室から一番遠いNの教室や体育館等へ緊急時につけつけるのに、どれくらいの時間を要するのか気になる。 							<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の皆様に安心していただけるよう、改善していきます。気になる点がありましたら、いつでも御連絡ください。よろしく願っています。 ・身体測定については、必要に応じて個別に対応いたします。担任や保健室に御相談ください。 ・学園開校に向けた設計時に、保健室をS・N棟のどちらにも近くなるようにと、南玄関付近から全校舎の中心部であるS・N棟連絡通路そばに移設していますので御安心ください。緊急時には、スムーズに対応できるよう訓練を定期的に行っています。 					
今後の方針							今後継続して、保健・緊急対応がスムーズに行えるように努めます。					

Q17 適切なアレルギー対応を行うための教職員の資質向上、及び校内体制の堅持はなされていますか。

【保護者】アレルギー疾患のある児童・生徒への学校給食における対応や医療的ケアは、適切に行われていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	72%	3%	26%	96%	3%	2%	89%	2%	9%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・給食の対応は、とても素晴らしい。 ・アレルギー事故が起きたことは良くないが、すぐに公表し、改善策を全体に知らせたことは良かった。 ・アレルギーがある児童の情報を共有したり、エピベン研修を行ったりして、全職員が対応できるようにしている。 ・すぐに書面で報告していただいたりとても安心している。 ・トラブルがあった際の対応は早かった。 ・校外での食事で不安を感じるケースがある。 ・今後事故が起こらないよう、継続的な取り組みが必要。 ・給食の献立をもらった際にアレルギーの食品が使われる日に自分でチェックしているが、今日は大丈夫だったかと気になるので、連絡帳などで「今日は除去食を食べた」と分かるようにしてもらえるとさらに安心。 ・給食を食べさせてほしい。親が温めてほしいとお願いしてもやってくれないのももう少し保護者の声を聞いてほしい。 ・摂食指導の際の事故があったが、すぐ再発防止策が出され全体会議があり、周知徹底された。 ・アレルギーを使った学習がされる時全校掲示板に必ず載っている。 							(今後の方針のとおりです。)					
今後の方針							引き続き、調理実習や校外時の確認を含むダブルチェック体制の徹底を図るとともに、定期的な研修を通して全校的に意識を高めるように努めていきます。					

Q18 都方針を踏まえた、安心・安全な医ケア制度の啓発と医療的ケア体制の堅持がなされていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	0%	11%				91%	4%	5%	90%	2%	8%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・看護師の不足が解消するとよい。 ・初歩的なインシデントが多かった為、改めて安全・確実な実施に一人一人が努めていく必要がある。 ・重症度の高い子供の教室は、看護師に常駐していただきたい。前に事故があったので心配している。 ・CGの医ケア実施者が少ない。もっと増やしてほしい。 ・保護者の付添はいつまでと明確になるとうれしい。 ・担任も研修はしているが、実際には医ケアを行ってない。 ・医ケアがあるため付添登校をしていたが、先生方が色々気遣ってくださり安心して学校で付き添うことができた。 ・医ケアは、一人一人に合わせたマニュアルを作り、統一したケアができるように努めていただいている。 ・看護師の方も一つ一つの動作を丁寧かつ確実に行って事故のないよう取り組んでくださっているのがありがたい。 						<ul style="list-style-type: none"> ・改めて、丁寧にマニュアルを確認しながら医療的ケアを実施し初歩的なインシデントの防止に努めていきます。 ・看護師と担任間で連携を図り、事故のない対応に努めます。気になる点がありましたら、担任、看護師、学部主任等、誰でも構いません。御相談下さい。 ・医療的ケアをスムーズに実施することができるよう、全体のバランスを考慮し、体制の調整を進めて参ります。 ・保護者のみなさまには御負担をおかけしますが、安心・安全に医療的ケアを進めていくために、今後も御協力をお願いいたします。見直しをもって研修等を計画し、その旨お知らせできるよう、努めていきます。 						
今後の方針		・都方針を踏まえ、今後とも安心・安全に医療的ケアを進めることができるよう、校内体制を整えていきます。										

Q19 学校介護職員を人材活用した、医療的ケア体制の充実は図れていますか。
 【S部門の保護者のみ】学校介護職員による医療的ケアの実施は進んでいると思いますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	89%	0%	11%	52%	18%	30%	81%	16%	4%	74%	11%	15%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・複数の大人の目が、よく行き届いている。 ・CGの実施者は増えているが、勤務を要しない日があるため、難しさも感じる。 ・CGの配置に多少の継続性がないと、CGを活用した医療的ケア体制の充実にはつながらないのでは。 ・言われているほど教員の負担は減っていない。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針		・全体のバランス等も考慮しながら、医療的ケアを継続してスムーズに実施することができるよう、実施者を検討していきます。										

Q20 安全でおいしい給食の提供と、楽しい給食タイムの工夫ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	84%	5%	11%	94%	4%	2%	93%	3%	4%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> アレルギー対応が徹底され、食器もわかりやすい。 安全に配慮されていた。 給食の形態をよく考えていただいている。 本当に手間をかけて、安心安全に楽しく食べられる給食を作っていただいている。とてもありがたい。 偏食が多い子供にも、何とか食べさせようとする工夫に感謝をしている。 N棟食堂の活用はまだよく知らないの今後が楽しみ。 学校介護職員と共に摂食指導技術の向上を図れるとよい。 食形態が低い。 机を囲んでお友達を見ての食事も楽しいのではと思う。 給食室がないためほこりが気になるし、バタバタしている。 給食に集中するという感じなので音楽や校内放送等あるといいと思う。 牛乳は毎食必要とは思わない。嫌いな子供もいる。 栄養士が巡回してくれて、直接子供が食べている様子を見てくれるのはとてもありがたい。 						<ul style="list-style-type: none"> N棟食堂は、S部門は各学部の卒業学年が、N部門は宿泊行事を実施する学年が事前練習に活用してきました。今後も、より有効な活用方法を検討していきます。 教室の環境整理と整備を行い、衛生面には留意するように努めます。 低廉で良質のタンパク質の確保や給食時の水分補給の観点から全国の学校で牛乳の提供が定着している背景があります。本校での牛乳の提供については、開校時に両母体校の提供状況を踏まえて検討の結果、低温殺菌牛乳を続けることに決めた経過があります。今年度からジョアなどの牛乳以外の物の提供も取り入れました。 						
今後の方針						・引き続き、安全でおいしい給食の提供について、環境の設定も含め、より良い方向性を検討していきます。						

Q21 摂食評価や研修を通し、摂食機能の向上を図ることができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				93%	4%	4%	97%	2%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> Sだけでなく、Nにも一部摂食評価を入れて、子供の摂食機能向上をサポートしているのはとても良い。 CGと情報や技術を共有することが必要。 摂食についてはNでも、もっと取り入れてほしい。必要。 摂食指導で適切な食形態を提供できている。 摂食評価では個別の指導が受けられるので、実際の指導に活かしやすい。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針						・S部門だけでなくN部門も含め、時期や学年等、計画的に摂食評価や研修を実施し、給食時の摂食指導に生かせるようにしていきます。						

Q22 各種保健行事は、効率的に進めることができますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎							93%	3%	4%	93%	3%	4%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・健診を行う会場の確保が難しい。 ・日程表等を出してもらるのが、ありがたい。 ・計測が保健室ではなく、体育館等広い場所で行うことができ、合理的になった。 ・健診(計測)場所や移動順など目で見て分かる指示ができていて、分かりやすい。 ・保健室には、2部門5学部と大きな学校で行事等も複雑に入り組む中で、効率的に進めて頂いていると思う。 ・身体計測を両部門で統一し学期始めの年間3回に変更など、昨年度より整理されている。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針						・企画時、担当部署が中心となって、会場の選定を含め、一層効率的に保健行事が実施できるように検討していきます。						

「専門性ある人材の活用」

Q23 S部門の教員と学校介護職員の協働体制の充実は図られていると思いますか。
 【S部門の保護者のみ】教員と学校介護職員とは、連携して日常の業務にあたっていると思いますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	0%	11%	85%	5%	9%	93%	7%	1%	89%	4%	7%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・学校介護職員の役割に関する意義は、向上している。 ・常によく連携されていると感じる。 ・教員からCGへ適切な指示があり、日常がスムーズに進んでいるように見える。 ・教員と介護職員が合わないところがあると思う。 ・どの授業においても、略案等を通して授業内容や、具体的な支援内容を共有しておくが必要だと感じている。 ・能力差のバラつきを埋める研修を、充実させてほしい。 ・導入から3年経ち、仕事の住み分けができてきた。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針						・各自が協働の指導チームの一員であることを自覚し合った上で、授業や介護面での確認事項や課題を共有できるようにしていきます。						

Q24 【協議委員・S部門の保護者・教職員(CG)のみ】
 学校介護職員は、児童・生徒の状況を把握し、適切に対応できていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	78%	0%	22%	84%	4%	12%	94%	6%	1%	85%	3%	12%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・CGも、数年見てくれていると子供の状況を把握して関わってくれる。 ・子供への対応も色々な工夫をして取り組んでくださり、先生とは違った視点から物事が考えられると思うので、とても良いと思う。 ・子供のために、積極的に読み聞かせなど実践してくれている。安全に配慮しながら対応できている。 ・概ねできていると思うが、怪我等もあったと聞いた。現状に満足せず、向上心を持って努力してほしい。 ・自立活動時、子供が遊んでいるのを見ているだけという感じがするCGがいて、不安を覚えた。 							<ul style="list-style-type: none"> ・教職員間で連携を図り、安全面の確保に努めます。 					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・教員と学校介護職員間の日々の打ち合わせを密に行い、指導方針や指導の仕方、留意点についてしっかり共通理解が図れるように努めます。 										

Q25 【N部門のみ】
 カフェや栽培園芸のノウハウを有する企業の専門家からの助言を活用して、作業学習の充実が図られていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎							86%	2%	12%	86%	2%	12%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・現状の改善だけではなく、長年に渡り継承していけるものをどう作り上げていくのが課題。 ・助言がいただける班とそうでない班があるので、隔年でもよいので、全作業助言が受けられる環境が整うとなおよい。 ・企業のノウハウを導入することは、専門知識を生徒が身に付けることができ良い経験になると思う。 							(今後の方針のとおりです。)					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・専門家の助言をもとに今後の方向性を明確にし、日々の指導に効果的に生かすことができるよう、検討を進めていきます。 										

Q26 学習指導アドバイザー等、外部専門家を活用した教材の充実や授業者・保護者支援がなされていますか。

【保護者】S部門の外部専門家(つばき研究所、OT、PT、ST等)、N部門の外部専門員(臨床発達心理士、たすく)のアドバイスは有効でしたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
□	100%	0%	0%	44%	5%	50%	90%	7%	4%	78%	4%	18%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 外部専門家と担任が上手に意見を出し合い、子供に合った指導をしている。 アセスメントを受けて学校での指導にも役立てていただいているのでありがたい。 訪問は、外部専門家の指導を受けられず残念。 継続した指導が受けられないので残念。 S部門でも、こだわり、自傷面の指導も入れて頂きたい。 併置校なのだから、NにもOT、PT等受けられるようにしてほしい。直接でなくても先生方は相談できるのか。 アセスメントが受けられるのかわからないし、受けられるなら、早目に知らせてほしい。 内容によっては先生への御指導のみの場合があるので、参観するのに少し悩んだことがある。 先生方がどんなアドバイスを受けたのか教えてほしい。 外部専門家の指導も、実際には年に1回機会があるかないかで期待外れだった。経験のある先生でも、専門家とは観点が違うと思うので、子供が積み上げてきたものと、この先に目指すものをしっかり引き継ぎ実践してほしい。 たすくのアセスメントは有意義。N全員が年2回は受けられるようにしてほしい。 						<ul style="list-style-type: none"> 全都立特別支援学校に導入済みの「外部専門家の人材活用に関する制度」は、保護者他の都民の声を受けて、教員の専門性を高めるためのものです。直接指導を受けることはできなくても、指導力の向上を通して、訪問時の指導で学園生に還元できるようにしています。引き続き、指導力の向上に努めて参ります。 できるだけ早くに計画を立て、御報告できるように努めます。 先にも述べたように、教員の専門性を高めるために都が導入している外部専門家なので、教員への指導が基本となりますが、保護者との共通理解のもと、より良い指導につなげていきたいと考え、本校では独自に可能な機会に参観できるようにしています。 限られた時間数の中で全校の調整を行いますので、御希望通りにいかないことがあり、心苦しいところですが、数少ないアセスメントの機会を今後の指導に有効に活用できるように努めていきます。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> アセスメントの結果を日常の指導に効果的につなげていくため、より良いアセスメントの進め方と活用について、さらに検討を進めていきます。 										

Q27 教材作成アドバイザーを活用する等、教材作成を活発に進めていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				84%	12%	4%	92%	6%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 活用例などがあるとよい。 来校日が増えるか、柔軟に対応していただけるとよい。 教材作成のためにまとまった時間をとることが難しいので、長期休業中に講習を設定していただけると良い。 訪問は、時間が合わず活用できない。 アドバイザーを活用している。高価なものではなく、100円均一などで扱っている物で良いものを教えていただけるのでありがたい。 できている。相談・作成していただいている。 相談すると自分で考えるよりもずっと良いものが得られるし、個人の教材として財産になる。 木工等、一人ではできないことにアドバイスをいただけるのはありがたい。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> より良い授業を展開し、効果的な教材を提示することができるよう、さらなるアドバイザー等の人材活用や環境整備を進めていきます。 										

「学校組織の確立と教職員の行動指針」

Q28 指導に専念できる、業務システムの効率化、合理化が図られていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	89%	0%	11%				66%	30%	3%	78%	15%	7%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・分掌を分けたことにより一人分掌が増え、負担が大きい。 ・特定の教員に仕事が集中している。 ・分掌と学部学年の業務の役割分担が不十分。 ・主担任と副担任の業務内容の煩雑化が課題である。 ・大規模校として効率化が進められている。 ・会議日程も効率的でありよい。 ・掲示板の記入の仕方がばらばらである。 ・部活動などは一部の教員への負担が大きい。 							<ul style="list-style-type: none"> ・様々な御意見を、ありがとうございました。御意見を参考に、学校としてどうあるべきか、検討していきます。 					
今後の方針		・継続して、課題の解決と業務内容の整理、効果的な業務システムの確立を追究していきます。										

Q29 個人端末等を活用した、的確で合理的・効率的な業務遂行ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	0%	11%				88%	9%	3%	89%	5%	7%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・効率化・合理化の精選努力が今後も引き続き必要である。 ・教員のスキルが違いすぎる。 ・メールや掲示板を確認していない教員がいるため情報共有がされずに業務がスムーズに進まないことがある。 ・問い合わせは、メールを積極的に活用する等の工夫が必要。 ・関係者へ一斉メール送信したり一覧表に入力するなど、合理化・効率化が図られている。 ・個人端末があり、会議も効率的でかつ紙を節約して実施されている。 ・会議等で紙の無駄が減ったと思う。 ・全体に向けた口頭指示報告が減り、確認事項の集約化が進んだ。 							<ul style="list-style-type: none"> ・組織の一員としての自覚を促し、校内情報の共有と活用について周知徹底を行います。 					
今後の方針		・引き続き、効率的な業務遂行方法の検討と、確認作業の周知徹底に努めます。										

Q30 体罰や暴言をなくすために、積極的に取り組んでいますか。
教職員に関して、体罰や不適切な指導をなくすための取り組みが、十分に行われていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	85%	3%	11%	95%	2%	3%	93%	2%	5%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・情報開示を行っている。 ・個人を尊重した接し方をしてくださっていると思う。 ・子供が楽しく学校に通う姿を見ると不適切な指導などないと思うし、保護者とのやり取りからも信頼している。 ・体罰や暴言は見られないが、児童を下の名で呼び捨てにしている教員は気にかかる。 ・教員の一人担任のクラスは閉鎖され気味である。 ・児童・生徒の呼び方(呼び捨てにしない、年齢相応の呼び方等)について意識改革が必要。 ・言葉では不安や痛みを伝えることができない児童生徒がほとんどなので、見えないところで体罰や言葉の暴力による指導がないよう、十分に注意してほしい。 ・現代社会の傾向か、全校的に先生らしくない、大人らしくない言葉遣いを耳にすることがある。 ・椅子に座らせた姿勢が多く、立位や歩行をさせない。 ・外出やプランコの時間もすくなくすぎたあきれる。 ・持続した放置が多いと思われる。体罰にも値すると思う。 ・先生の指導の大きな声と言葉に驚いたことがある。 ・不適切な言動や態度は、見受けられる。先生の行動が、子供たちにとっては、時には不快になるので配慮してほしい。 ・パーテーションを使っていたり、一人でクラスを見ている教室など、不安もある。 ・体罰防止に向けた全体での悉皆研修があり、全体で体罰危機意識を持つことができて良かった。 							(今後の方針のとおりです。)					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、週に1回の学部間で行う情報交換を通し、不適切な言動や指導の改善に努めるとともに、学部内の共通理解を深めるようにします。教職員の対応等について気になることがありましたら、副校長までお知らせください。すぐに対応いたします。 										

Q31 クリーンデスクを含む個人情報保護等、人権尊重の推進は行われていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	0%	11%				92%	6%	2%	91%	3%	7%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンデスクは個人差が大きい。 ・個人情報が含まれるものは、手渡しを徹底するべき。 ・デスクの中が整理整頓されていない。 ・訪問は、外にカメラを持ち出すなど校外で個人情報を扱うことが多いので、特に気を付けている。 							(今後の方針のとおりです。)					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、クリーンデスク及び個人情報の保護について、周知徹底と意識化を図ります。 										

Q32 鹿本クオリティファイルの遵守と、学園教職員として誇りある行動実践は行われていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	78%	0%	22%				96%	2%	2%	87%	1%	12%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
・保護者の中には、教職員の勤務中のおしゃれに気になる点がある人もいるようなので、子供が指導に集中できるように整えてほしい。							(今後の方針のとおりです。)					
今後の方針							・学園教職員として、適切な身なりの実践と、共通理解を図っていきます。					

Q33 校内におけるOJTは組織的に進められていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				90%	7%	3%	95%	4%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
・授業や指導を見合える機会が非常に少なく、その中でどのようにOJTをすすめていくのかは課題である。 ・主任教諭が若い教員を育成するという機会の設定や意識の向上を目指したい。 ・主幹・主任を中心としたOJTが進められている。 ・日頃の授業実践や研修において、進められている。							・授業者支援会議等を有効に活用できるように努めます。					
今後の方針							・今後も引き続き教員間の連携を図り、OJTへの意識向上と共通理解に努めていきます。					

「魅力ある学園教育・学校環境の創出」

Q34 読書推進月間、学園カフェ等、学園内の交流を通し、学園の一体感や併置化のメリットを生み出す教育活動を進めることができますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	79%	6%	15%	92%	5%	3%	90%	4%	6%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・入学式や始業式など、両部門合同の学部別になっているのはとても良い。 ・図書室などで一緒になった際、挨拶を交わしたりして微笑ましい。 ・学園カフェは、SNで仕事を分担して協力している。 ・PTA行事を通し、保護者間でのSN交流はあるが、生徒間では学園の一体感や併置化のメリットを感じられない。 ・SとNの直接的な交流の機会がもてると良い。 ・NからSへ異動する子供もいるので、「友達と会える、つながっている」ことが感じられる機会がもてると良い。 ・他の併置校よりは肢体・知的が一緒に学んだり交流したりしている部分は多いと感じているが、もっとこんな成果が出ているという広報が必要だと感じた。 ・校舎内で、車いすと子供との接触事故がないようにお願いします。 ・SとNの一体感はあまり感じられない。 ・虹輝祭や授業参観などを同じ日程で行うことは不可能か？ ・学園内の交流はもっとある方が良い。 ・SNの子供同士の交流ができたらと思う。 ・併置校の特性を生かして、もっとSとNと一緒に遊んだり、勉強する時間をとってもらいたい。 ・日常で廊下でNとSが普通に行きかうことはよい。 							<ul style="list-style-type: none"> ・様々な御意見を、ありがとうございました。(今後の方針のとおりです。) 					
今後の方針							<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは、開校周年記念特別プログラムや一部の合同作業学習、始業式・終業式・修了式・入学式・卒業式等の式典が主なSN両部門合同の教育活動として開発してきました。また図書利用や校内でのふれあい等の日常での自然な交流も大切にしてきました。今年度は新たに「SN合同の書道展」や相互の作品を鑑賞できる「各部門美術展」も導入しました。特別支援学校の基盤である障害特性に応じた学習を大事にした上で、同じ学園内で共に学校生活を送るふれあいを大切にすることを学園の方針としています。さらに、併置校ならではの良さを追究していきます。 					

Q35 案内や電話の応答、服装等、学園クオリティの基盤となる教職員の接遇マナーは向上できていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	88%	7%	5%	95%	4%	2%	94%	4%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> 電話回線が少なかったり、なかなか取れなかったりすることは課題。 電話がつながりにくい。全校人数が多いので困る。 訪問時、適切に案内される。 電話対応はとても丁寧だと感じている。 いつ学校へ行っても先生方や職員の方が笑顔であいさつしてくださるので、子供たちの見本ともなり良いと思う。 Nの子供たちの挨拶にも感心させられる。 全ての電話に外線から内線へのつなぎ方のマニュアルをつけてほしい。 夏の悉皆研修も大切であると思うが、接遇マナーの研修なども取り入れると良いと思う。 学校を休む時女性の先生はよいが、男性の先生は義務感で感じが悪い。また、担任に伝え忘れたことがある。 校内で会っても、挨拶をしてくださらない先生もいる。 仕事中の男性教員の半ズボンはいかがなものかと思う。 電話対応は顔の見えない分気をつけた方がよい。 子供の病気や欠席、緊急でかけていることが多いので、対応が悪いとこちらの気分も悪い。 丁寧な方もいらっしゃるのですが全員ではない。 SN関係なく挨拶をしてほしい。電話の対応も同じ。 校長先生は学園の代表なので、できればひげがない方がすっきりしていてイメージが良いです。 男性教諭のひげ姿はイマイチ、清潔感がないと思う。 先生の髭はない方が清潔感があって良い。相手に不快感を与えないようにすべき。髪型や服装と同じように考えていただきたい。 ストーンのついたネイルをしている先生がいる。休日はファッションを楽しむのは自由だが、子供に接するときは指導に集中できるように、プロとして身だしなみを考えてほしい。 面談の時に担任の爪の異常な長さが気になった。 校内で外部の方を含めた委員会などがあるときの案内や表示の手だてが以前よりよくなった。 							<ul style="list-style-type: none"> 「電話の繋がりがづらさ」につきましては、御迷惑をおかけしましたが、3月初めより3回線から5回線に2回線(+60%)の増設が認められました。 皆様に気持ち良く学校生活を送っていただくことができるよう引き続き、接遇マナーの向上に努めていきます。 教育公務員として、保護者の皆様や外部からの来校者に不快感を与えない、指導に適した身だしなみを整えるように努めて参ります。 					
今後の方針							今後も継続して、学園クオリティをあげる、教職員の接遇マナーの徹底と向上に努めます。					

Q36 校舎(S・N棟)内で、統一感のある案内表示・教室表示の全校的整備は進められていますか。案内表示は分かりやすいですか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	85%	7%	8%	95%	5%	1%	93%	4%	3%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> 校内の表示は分かりやすくすっきりしている。 足元、目元と案内表示されているので、分かりやすい。 案内表示多くて分かりやすい。 廊下の展示物も、見ごたえがある。 N棟の廊下の床にも案内の線があると助かる。 誘導案内は、表示でなく、ラインテープを引くのが良い。 まだ分かりにくく迷子になることもあるので、もう少し表示を増やすと良いと思う。 校門が数か所にあるので初めて行くときは分からず、表示も見当たらなかった。 正面玄関前に見取り図(タペストリー)があるが、詳細でないので、行きたい場所を見つけれないことがあった。 							(今後の方針のとおりです。)					
今後の方針							正門への案内表示も含め、さらに分かりやすい案内表示の設置や案内表示の精選を進めていきます。					

Q37 掲示物の精選や花壇の美化等、学校施設の美化が行われていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	90%	2%	8%	96%	4%	0%	95%	2%	3%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・学校周りや校内の廊下など、常に掃除が行き届いていて清潔である。 ・校内がいつもきれいで明るい環境であると思う。 ・定期的に掲示物が変わりよい。 ・渡り廊下は、まるで美術館のように美しい。 ・教室の廊下など季節の飾り付けがされていて楽しい気分になる。 ・花壇も手入れがされている。 ・ひまわりの栽培の取り組みも、素晴らしい。 ・駐輪場は雨が降れば池のように水が溜まり、地面も凸凹で風が強いと自転車倒れ、屋根がないところもある。 ・何度も同じ箇所を修繕しなくてはいけない場合、修繕の前に対策できることがあるのではないかと。 ・白鷺のように、花壇を学園内だけでなく、公共の道路上の花の美化などボランティア的なこともやってみると子供たちも楽しんで花を育てられるのでは。 ・トイレがあまりきれいではないと思うときがある。 ・大規模校ながら、細部も少しずつ改善が図られている。 						<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場は雨水浸透樹でもあるため、地面を加工することができません。少しでも気持ち良く駐輪できるよう、自転車の整理を実現できるように努めます。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・限られた設備の中で少しでも快適に過ごすことができるよう、学校設備の整備を継続するとともに、改善方法について検討を進めていきます。 										

Q38 ピクチャープロムナードの常設と活用、職員室の環境改善等、学校環境改善は進められていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	85%	1%	14%	92%	7%	2%	92%	3%	5%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・ピクチャープロムナードの掲示物や装飾は、季節感もあり、来客にも大変喜ばれているので、とても良い。 ・とても良い活用だが、自分の子供の作品が展示されているときは連絡帳で知らせてほしい。 ・自分の子供の絵が展示されているのを知らない保護者がいるので、知らせてはどうか。 ・いつも季節を感じる明るくて素敵な空間だと思う。 ・装飾や絵が変わるのをいつも楽しみに見ている。 ・美術館みたい。もっとアピールしたらよい(HPとかで)。 ・季節を感じることができる。 ・SNの保護者の方がそれぞれあまり通らないところなので、保護者がもっと目にするところへ飾ってほしい。 ・あまり通ることがなかったので知らなかった。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・ピクチャープロムナードの作品は、引き続き、全校で計画的に様々な作品を掲示できるようにしてきます。また、掲示された作品については、連絡帳やお便りを通して、保護者の方にお知らせできるように徹底していきます。 										

Q39 学校のホームページ等を活用した、保護者向け学校外活動等の情報発信や地域向け情報発信はなされていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	72%	4%	25%	96%	3%	2%	89%	2%	9%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等が充実している。スッキリと見やすい。 ・フェイスブックは、頻繁に更新されていて良い。 ・Face bookで学校の様子が見られるようになり、子供から聞けないことも見られて良かった。 ・ホームページは物足りなかったが、フェイスブックで日々活動が更新されていて、楽しめる。 ・お便りなどで活動報告を読むと色々な活動が行われていることがわかった。 ・まちこみの情報は大変有効。 ・他学年の移動教室の様子などを知らせていただけるのが良い。 ・改善に感謝する。 ・HPは、スマホだと字が重なっている。 ・HPは、全く関心のない保護者もいるので、PRが必要。 ・HPでもっと学校行事など、パスワード制でも良いので公開してほしい。 ・学校のHPで子供たちの様子を写真で紹介してほしい。 ・行事ごとの様子の写真の掲示、学びの虹などできめ細かく学校内での行事等の内容を紹介しているのが良い。 							<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の観点から、ホームページ上に写真を掲載することは難しくなっています。御理解ください。 					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の様子を随時掲載できるように、フェイスブック等も十分活用しながらスピーディな情報提供に努めていきます。 										

Q40 高等部進学及び特別支援学校教育終了後の自立し、社会参加を見通した進路学習、及び保護者支援を行っていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	69%	5%	26%	88%	4%	8%	86%	3%	11%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・S部門の東洋大学見学や、N部門の(白鷺特支以外の)進路先見学等、様々な可能性を提示していてよい。 ・進学への施設見学、卒業後の参考になった。 ・学習会があるので助かる色々な情報をいただき、しっかり理解していきたい。 ・学校で学習会があるのでありがたい。 ・卒業生の親の話も聞きたい。 ・情報は常にお便りが配布されるので大変ありがたく思う。 ・学校との違いを知り、卒業までに身に着けるべき力を考える機会を持ると良いと思う。 ・夏季休業中の施設見学は、進路先を知ることのできる貴重な機会となっている。 ・中学部から進路体験できるので良いと思う。 ・子どもはまだ理解していないと思うが中学を卒業したらどこに行くのか、高校が終わると社会人としての就労があるということを早いうちから指導するのはとても良い。 ・作業所や施設へのあいさつまわりはPTA役員の方がしているが、中学部の保護者向けに、作業所見学の企画があると将来の参考になると思う。 							(今後の方針のとおりです。)					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・今後の引き続き、学園生び保護者の皆様の役に立つ、情報の提供や学習会の計画に努めます。 										

Q41-1 【教職員】今年度、「私はこれをやりました。」といえるものは何ですか。

- ・教科指導、学習指導(指導の成果が結果に表れた)[21]
- ・児童・生徒指導(体調管理、精神的な不安の減少等、基本的な生活習慣の確立、役割分担、係活動)[21]
- ・教材研究、教材作成[17]・保護者との連携[10]・学部、学年運営[10]・分掌業務[8]・個別課題学習[7]・授業づくり[7]
- ・学級経営[6]・宿泊防災訓練[5]・図書整備[5]・児童・生徒理解、実態把握、体調管理[4]・若手教員の指導[4]
- ・宿泊を伴う行事の見直し、企画、立案、実施[3]・訪問教育における学年との連携、及び訪問における指導[3]・授業改善[3]
- ・全国公開研[3]・作業学習の指導内容の精選と指導の確立及びチームでの指導内容の充実、構造化[3]・特になし[3]
- ・小1の学級運営、生活指導と鹿本学園(小学校の活動・行事)について初めて知る保護者に対する情報発信や支援[3]
- ・スポーツフェスタの学年種目、徒競走、リレーの調整、運営[3]・進路体験学習の推進[3]
- ・スクールバスの安全な誘導と調整[2]・副担任業務[2]・緊急時対応訓練の企画、運営[2]・安全な医療的ケアの実施[2]
- ・安全な医療的ケア実施のための調整[2]・虹輝祭の企画・運営[2]・摂食指導[2]・社会見学の企画、立案、運営[2]
- ・日々の体制調整[2]・自立活動担当としての児童・生徒の実態把握と指導計画立案及び実施[2]
- ・重重学級における体の取り組みとコミュニケーションの取り組み[2]・外部専門家アセスメントに関する連携と調整[2]
- ・放課後等デイサービスとの連携・特別支援学級との連携・廊下でのすれ違う方へのあいさつ
- ・宿泊行事実施手順のまとめ、各会議記録の整理、ペーパーレス学部の実施・後輩の見本として、誠実に仕事を行うこと
- ・昼休みなどの活動として、学年を超えた児童生徒との遊びでの関わり・研究育成部の新転任者向け研修の運営と実行
- ・研究授業の計画、支援会議を受けての改善・主担任としての学習指導・生活指導・東京教師道場リーダーとして、部員の育成
- ・連絡帳による保護者との連携・若手教員の育成(教師養成塾)・運動会でのICT機器の準備・設営
- ・数の学習と時計、お金の学習に関する授業内容の工夫・運動会外部向けポスター作成・学年主任としての学年運営
- ・安全衛生委員としての職員健診やインフルエンザ予防接種の計画や運営・個別の課題学習の進め方
- ・翻訳アプリを活用した学校評価アンケート(保護者用)の英訳
- ・第2プールの管理、経営企画室との連携による新マニュアル作成
- ・平成28年度 第2回学校保健委員会「すこやかレインボー講座」での保健給食部の開校から3年間の取り組みの全校周知
- ・書道作品展(総合文化祭書道部門)・N中学部3学年の教育活動の構築、運営就学前機関との連携
- ・教育部門変更に伴う手続き・ランチルームのルール化、整備等・教材展の推進・特別支援教育コーディネーター補佐
- ・N中2年移動教室の新たな行程と指導内容の精査と確立・大阪・修学旅行の計画、実施・社会性の学習でのレインボーワーク
- ・教員間の連携・環境整備・N中学部の教育相談・卒業アルバム制作・開放プールの実施に向けての準備
- ・給食時間のS部門及びN部門の教室巡回と、栄養士及び調理員、教職員との連携
- ・アレルギーに関する書類の整理・宿泊学習に関する保健業務の整理と分担化・保健室の仕事の効率化
- ・保健室と教職員の連携・業務内容の整理と順位付による、効率的な業務遂行・施設改善・環境美化
- ・医療的ケアに関する、緊急時対応の一覧表作成・クリーンデスクを含む個人情報保護等、人権尊重の推進
- ・運動会での、普通小をモデルにした徒競走やリレーの競技実践・「バケツ稲」の授業
- ・S部門のスポーツフェスタ(中高)と運動会(小)の業務の統一・教室内図書の充実
- ・学校公開に関する企画・準備と体験学習や就学相談に関する調整・授業改善・アレルギー対応
- ・摂食指導の技術向上を目指した、給食指導中の巡回・AT・AACに関する教材作り研修会実施
- ・教員進路指導研修(施設見学会)の実施・全国公開研究会へ向けた研究・緊急時対応訓練の企画
- ・小学部運動会の企画立案及び実施・教員と教材作成アドバイザー一間の橋渡し役
- ・訪問教育担当者間の訪問教育に関する共通理解及び情報共有・教員・保護者向けのiPad講座・部活道の運営
- ・交流関係や副籍に関しての業務・日々の体制調整・学習グループ運営・教科書選定作業
- ・鹿本学園Facebookを始めて、少しずつ学校の広報を広げて行っていること・高等部入学相談の企画運営
- ・掲示板を活用した研修案内の周知・教員間の連携・レインボー通信の発行と整備・学校行事の運営・教育実習生の指導
- ・生徒用ICT利用環境の整備・放課後等デイサービス管理責任者対象連絡会
- ・特別支援学級と連携した連合運動会・連合展示会の企画・調整

※項目の後にある[数字]は、同じ内容について複数回答のあったものの回答数です。上から順に、多い順に挙げました。

Q41-2 【CG】 介護の専門家として、あなたが自信をもっていることや課題を感じていることを記入してください。学習支援、移動支援、排せつ介助等の業務も踏まえて書いてください。

- ・安心・安全な介護。
- ・授業での、教員の意図に沿った学習補助。
- ・教員との連携。
- ・教室の美化と衛生。
- ・介助についての報告、連絡、相談の徹底。
- ・子供の能力を向上させることができる支援。
- ・介護の専門家としての支援。
- ・子供の実態の把握。
- ・自分の人生を自分で決めて、自分らしく生きる力をつける大切な時間を共有しているという使命感をもって支援にあたりたい。
- ・介助面の、技術的な差が大きすぎるように思う。
- ・子供の成長をみることで嬉しかったが、もっと個別に時間をかけて対応したい時に手が足りず、残念に思う。
- ・生徒、教員との関わり方や、今何をやらなくてはいけないかなどが分かる様になってきた。
今後の課題は生徒の動きに対して瞬時に行動に移せるように努力したい。
- ・図工、生活単元などの授業及び授業準備の支援。
- ・先生たちは時間がない中で準備等をしているので、CGで出来ることは手伝っていきたい。
- ・排せつ介助や摂食介助がまだまだ未熟と実感している。
- ・本来の介護の仕事ではない「指導」をしなければならないことが多く、知識や技術の無さから不安に感じることがある。
しかし今の学習グループや学級担任は、普段から細かく、子供の現況や授業の目的、個別課題などを伝えてくれ、質問もしやすい環境を作ってくれているのでありがたく思っている。
- ・担任の思いがわかれば、それを手助けしたいと思うし、がんばりたい！
- ・授業の意図することを理解して授業の補助をどこまでできているか具体的に示して改善すべきところを示してもらえると、より向上につながると思う。

Q41-3 【保護者】 自由意見①

回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)	回答・改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・親が見られない活動の写真などほしい。何とか購入する方法はないか。 ・学校が楽しく大好きなようだ。それも毎日先生方のご指導をはじめ行き帰りのバスの運転手さん、乗務員さんのおかげだと思う。 ・自立活動では、からだの面だけでなくSTコミュニケーション面やOT手先の面のフォローも子供の様子に応じて取り入れてほしい。就学前から積み上げてきた訓練が就学を期に学校に引き継ぐと言っても実態が伴っていない。 ・夏休みの関係機関訪問も、特にフィードバックもなく、有意義ではない。 ・B学習グループでは、もっと教科学習の時間を重視してほしい。 ・低学年の、学年合同のあそびの時間はあまり意味がない。社会性などのねらいで時間を設けるならN部門の軽度知的コースと一緒に活動するのがよい。 ・副籍のお手紙交換は、あまり必要ないと思う。 ・訪問だと通学に比して、極端に他生徒との交流がないのが寂しいと思う。 ・まちなみメールの、他学年の情報も不要。迷惑メール扱いにしている。 ・S部門も天気の良い日の自由時間には外出をさせてほしい。特に車いすの子供たちを見かけることは少ないので、学校周辺にアピールできる。 ・先生、CG、外部専門家がしっかりと連携して子供の成長発達を見守ってくださり、感謝している。 ・担任の先生に非常によく対応していただいているため、担任の先生が不在時(出張など)の対応が心配。 ・社会見学、校外学習、移動教室などでの医ケア対応を推進してほしい。 本人が元気でも、付添できない場合は欠席せざるを得ない。 特に移動教室での医ケア保護者への負担はひどすぎる。 ・スクールバスに、看護師を乗せてほしい。もしくは保護者の同乗。 ・医ケアの子供の、スクールバス通学を、ご検討いただきたい。 ・行事や社会見学時の医療的ケアについて、学校から依頼がくるが、駐車場の確保や旅費など、医ケアの保護者の負担が多い。 仕事を休み、時間をつくって学校に来ているので、対応を改善してほしい。 ・物品の取り扱いを丁寧にしてほしい。 ・ロッカーの中の整理整頓をしてほしい。 ・行事ごとに服装の指定があるので、学校で統一したものを準備してほしい。 ・子供たちは(特にS部門)様々な装具を使用することが多いため、教職員が正しく装着できるようにOT、PTの専門家来校時に研修を行ってほしい。 ・以前、クラス担任に伝えたことが他のクラスの担任(学習グループは一緒に)に伝わっていないことがあった。 ・登下校時間外でも外から簡単に校舎に入れるので怖い。 出入り口やエレベーターなどにあるロックはあくまで飛び出し防止。防犯用ではない。名札を忘れても声をかけられることなく入れることを考えると怖い。 ・学校のテンキーは随分慣れてきたが、しばらく空くと忘れがちなので、2416(にじいろ)や7716(なないろ)等分りやすく覚えやすい番号がよい。 ・自主送迎(医ケア)が増えているので、安全のため駐車場を広くしてほしい。 ・訪問生のプール指導は、初回は小プールということだが、前年度の実績やスクーリングの様子(回数)を踏まえて担当教員(担任)が判断してほしい。 ・冷めた給食を食べると、アレルギー反応が出やすいので、対応してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護の観点から、学校での写真販売は難しい状況です。お便りで、写真を用いた学校の取り組みをお知らせするようにします。 ・特設の時間の他にも、日々の教育活動全体を通して自立活動の取り組みを行っています。 関係機関や外部専門家の意見も授業に取り入れていますので御安心ください。お気付きの点は、遠慮なく担任にお知らせください。 ・B学習グループでは、教科指導の他に生活単元学習等合わせた指導も行われています。各授業では、各教科の視点を重視して指導しています。気になることは、担任または学級主任にお知らせください。 ・感染症情報等は登下校時のを考え、部門ごとの情報発信しています。御理解をお願いします。 ・学級だけでなく、学年や学習グループ内で教職員間の連携を図り、指導についての共通理解を図るように努めます。 ・御意見、しっかり受け止めました。 ・現在、東京都の定める要綱では「児童・生徒の安心・安全を第一としてスクールバス乗車中に、医療的ケアを必要とする可能性のある方のスクールバス乗車は困難」との判断となっておりますが、要綱の見直しに向けた検討も進められているとのことです。基準が変わりましたら速やかに対応します。 ・学園生が用いる車いす・姿勢保持椅子・学用品等を丁寧に扱うように徹底いたします。 ・日頃より医療的ケアの実施に御協力いただきありがとうございます。校外の行事での医療的ケアに看護師を充てたとすると、校内にいる学園生多数の医療的ケアが難しくなってしまう状況があり、心苦しいところです。 ・駐車場は、第一グラウンド横の駐車場が完成し使えるようになりましたので、今後は駐車場を確保できるように参ります。御理解、御協力をお願いします。 ・不審者対応については、小岩警察署から警察官をお招きして実践的な訓練等を行うとともに、名札の有無に関わらず、挨拶(言葉かけ)をするようにしています。御安心ください。 ・「2604」は、鹿本学園が「平成26年4月に開校」したことからきています。「26年04月開校」と御記憶ください。(他校では誰にでも分かる「語呂合わせ」番号が、クチコミで広がってしまったとの事を聞き、安全第一にこの番号を設定しました。)

回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)	回答・改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・小学部1年生は、はじめは子供のたちのレベルも分からないと思うので、学習グループ分けは2年生からやってほしい。 ・入学時の学習グループ分けは、保護者の意見も聞き、説明をしてほしい。 ・子供たちが、ほったらかしにされている時がある。マッドにおろしたり、先生も順番に連絡帳を書いたりして対応してほしい。 ・夏休み中に、プール登校でない一般の登校日があるとうい。 ・もしくは、プールに入れない場合でも登校できるとよい。 ・校庭、体育館、宿泊防災訓練など、N優先が感じられる。 ・移動教室で、2台の車いすを押す光景が見られた。事故がないよう、なるべく校外へ行くときは、介助の人数を増やしてほしい。 ・重度のクラスと他のクラスの時間割が同じでは、行動するペースが違う。重度クラスだからこそ、安全で事故のないよう、じっくり授業をしてほしい。 ・学習面の指導だけでなく、生活面においても家で困っていることへの対処等、一緒に考え、工夫し、常に家庭と連携しようとしてくれて、感謝している。 ・教科書としての教材の利用を多くしてほしい。 ・本以外の教材もあるとういのではないか。 ・どこの特別支援学校も子供の増加で教室などの設備が追い付かないところはあと思うが、なぜそう決定したのか、説明していただけるとありがたい(狭い教室が分担された理由などを客観的に)。 ・持ち物や制服、要望等、柔軟に対応してもらえるところがとても助かる。 <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊行事は水木金がよい。月火水だと疲れが残ったまま翌日登校になる。 ・年齢に合った指導を、今後お願いしたい。 ・家にいると勉強を自主的にやらないので、宿題をもっと出してほしい。 ・タブレットの導入、オープンライブラリー他図書整備、長崎県との他校交流、ポッチャなどのクラブ活動等、積極的に先生方が努力されている。 ・熊本地震後の防災講座、校内での募金活動など早くに実施され、活動的な学校だと思った。 ・Sのスポーツフェスタにもマスクゲームを取り入れてほしい。 ・歩いたり体を動かせる生徒に対しては、知的部門で行われるような登校時に着替え等の活動を取り入れてみてはどうか。 ・新しい学年になって半年、まだ子供たちの対応ができず移動教室のときスムーズに活動できていなかった。なぜ、去年の先生が1人でももち上がりにならなかったのか、親として見ていてとても不安になった。 ・授業も食事も分かれていて、他クラスの子供を先生方が把握していない。 ・学部主任や学年主任のリーダーシップがなく、先生方の統一感がない。 ・教室が狭いので感染に対して不安あり。 ・重度の子供たちは身体を取り組みが最優先。その後の活動に影響が出ることもある。授業も大事だが子供に合わせた授業が必要。 ・高等部になってプールの回数が減少。緊張の強い子供はプールでの活動はどんなりハビリよりもいい活動。なぜ減らされたのか。 ・保護者の待機室がない。 ・SRCWの歩行練習など熱心に取り組み、家ではできないのでうれしい。 ・N棟下駄箱から屋外へ出る動線は設計ミスでは。スクールバスに乗る想定でしかないため、早退時など、上履きがない状態で玄関まで歩かざるを得ない。改善策があると良い。 <ul style="list-style-type: none"> ・運動着や袋に氏名等を縫い付ける作業があるが、学年、氏名を空欄にした、鹿本学園の学校名がプリントされたものを学校で作し、配布してほしい。 ・運動会の「はじまりのことば」は、保護者席からはテントの屋根にさえぎられて子供の様子が見えなかった。担当するお子さんの保護者には、写真のポジションなどお知らせしたらよいと思う。 ・保護者学習会等の参加申し込みのお知らせは、少し早く知らせてほしい。仕事関係で参加してみたいと思っても、毎回あきらめている。 ・S棟外階段下駐輪場が利用しにくくスペースもない。帰宅時はデイスサービスの車がバックで出入りをしており、自転車を出す間子供を待たせるのが危険。 ・自転車置き場が狭く、自転車の出し入れがしづらい。 ・入学式の写真を欲しい。購入できるようにしてほしい。外部には出さない、SNSにあげない、等の約束をつけられれば皆守ると思う。 ・卒業式の写真が購入できるようになったことはとても嬉しく、ありがたく思う。遠足等の行事等も同じ方法で実現できたらと強く思う。 <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の「学校評価、集計結果とまとめ」に載っていた「より良い方向性について検討を進める」という回答は、その後具体的にどう改善されたのか。 ・子供同士のケガの傷等は、どちらの親にも伝えてほしい。 ・毎年思うが引き継ぎがちゃんとされているのか不安になる。クラス分けは、先生たちがちゃんと話し合っているのか。 ・学年便り等に、行事以外の普段の授業や教材の写真と説明を載せてほしい。 ・居住地と異なる学校なので、不審者情報などを近隣校からもらえるとよい。 ・精神科の医師を校医に迎えてほしい。NIには整形外科より精神科が必要不可欠。臨床発達心理士には薬や体のことを深く相談できない。 ・中2だけ違う校舎は残念だった。来年はN中2をN棟に戻してほしい。 ・デイスサービスやヘルパーさんを利用するため、1～2か月先の予定を知りたい。月初めに予定表を配られても、間に合わないことがある。 ・Sのスポーツフェスタ参加できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部1学年の学習グループ分けについては就学相談時や入学準備時の保護者からの御意見も参考にしつつ、就学前施設への訪問時や入学準備説明会時の学習課題の確認の他、就学前施設からの支援計画や移行支援計画を参考に、入学全児童各々の発達状況や教育内容とのマッチングの観点から慎重かつ総合的な検討を踏まえ、学校として決定しています。御理解ください。 ・夏季休業中のバス運行は学校主催「夏休み水泳教室」として認可を受け運行しています。年間の運行回数には契約上の上限があることから、学期中のバス運行を確保するためには、これ以上夏季休業中のバス運行は難しい状況です。どうぞ御理解ください。 ・学習グループや学級の実態に応じ、授業内容の組み立て方や時間配分は工夫を行っています。お気付きの点がありましたら、遠慮なく担任にお知らせください。 ・保護者会等で説明するようにいたします。気になる点がありましたら、お知らせください。 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な御意見、ありがとうございます。より良い指導に生かすよう、参考に検討させていただきます。 ・宿泊施設の予約に関しては、関東近辺の多くの特別支援学校等が木・金を希望するために、本校が第2・3希望となってしまっており、心苦しいところです。仰るとおり、水木金が確保できるように努めます。 ・進級、卒業に関わらず、体調や身体状況、これまでの指導についての引継ぎがしっかり行うことのできる体制の調整や時間設定を行い、保護者の皆様に安心していただけるよう努めて参ります。 ・S棟2階の保護者控室は両部門の保護者がどなたでも、いつでも御利用いただけます。錠が閉まっている際は、経営企画室で鍵を借りてください。保護者室の空いているスペースをPTA活動で利用していることもありますが、PTAには保護者の待機・休憩場所であることを御理解いただいています。御利用時には、中にいられる方に一声掛けてみてください。「全保護者で理解し合って気軽に気持ちよく利用できる控室」が学校の方針です。気付き点がありましたらお知らせください。 <ul style="list-style-type: none"> ・できる限り早くお知らせできるように努めます。 ・自転車の、整理駐輪の徹底を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> ・写真の販売につきましては、個人情報の保護を最優先とし、慎重な対応を行っていますので、御理解ください。 <ul style="list-style-type: none"> ・改善を行ったり変更した点については、引き続き毎月配布の『学びの虹』や『全校保護者会』等でお知らせして参ります。よろしくお願いたします。 <ul style="list-style-type: none"> ・都の基準により学校医の人数等が定められているため、これ以上人数を増やすことは難しい現状があり、心苦しいところです。学校医の皆様にご相談したところ、精神科に限らず、何でも相談できる『かかりつけ医』を見つけることを勧めいただきました。近隣の専門医等を紹介して貰うことも可能です。分からないときは、保健室に御相談ください。

Q41-3 【保護者】 自由意見③

回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)	回答・改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・高等部進学について、中2の終わりに提出した進路希望表をもとに中3でグループ分けした編成になるかと思ったが、実際にはあまり変わらなかった。何のための調査だったのか。受験対策は必要。今年度、見直しをもって授業が行えていたかといえば微妙。様々な学校にチャレンジさせたいという意欲は感じる。だからこそ受験対策に力を入れてほしい。 ・併置校に入って3年、最初はなかなか中学部の距離感がつかめず戸惑うことが多かった。それでも同じ障害児の 카테고리 にいながら知り合う機会のなかったS部門の子供たちや保護者との交流を通し、親としても、この地に住む仲間が多様な形と深く考えさせられた。鹿本学園にいなければ見えなかったこと、知らなかったことたくさんある。多く学びをもらい感謝の気持ちである。 ・1学期の白鷺特支の学校公開に鹿本からの参加者が少なかった。案内も、かなり押し迫ってからだだった。進路に関する連絡は早め早めにしてほしい。 ・授業参観でしか知りえないことが多く、連絡帳や面談では詳しく分からない。 ・指示が曖昧な面があり、ストレスを感じることもある。言葉の捉え方は人それぞれだが、気を遣って遠回しな表現をしてくださっても逆効果な場合があることを知っていただきたい。 ・保護者向け講座の計画はありがたいが、都合が悪く参加できないのが残念。 ・水筒の中身をスポーツドリンクにしてほしい。冬期等、水分補給を水やお茶だけでは上手に摂れず、風邪を引いてしまいがちである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・御意見ありがとうございます。いただいた御意見は真摯に受け止め、次年度のより良い進路指導につなげられるように努めて参ります。 ・御指摘、ありがとうございました。保護者の皆様にも、快く教育活動に御協力いただけるように、努めていきます。気になる点がありましたら、遠慮なくお知らせください。 ・水分補給等、体調管理に欠かせない事柄につきましては、いつでも担任に御相談ください。